

問1 北海道を中心に独自の言語や文化を築いてきたアイヌの人々に対し、明治政府が行った政策と、その後の法的地位の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. 明治政府は日本語の使用や日本風の姓名への変更を求める同化政策を推し進め、2019年にはアイヌ施策推進法によって法律上初めて先住民族と明記された。
2. 明治政府は伝統的な狩猟や独自の生活習慣を保護する政策をとり、1997年に制定されたアイヌ文化振興法によって初めて先住民族として認められた。
3. 明治政府は琉球民族と同様に独立した自治権を認める政策をとり、戦後の新憲法公布によって初めて日本国民として平等な権利が与えられた。
4. 明治政府はアイヌの人々の土地所有権を優先的に認める開拓政策をとり、現在では北海道のみならず全国で独自の自治組織が運営されている。

問2 1881年に起きた「明治十四年の政変」について、その内容と政府の対応を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 早期の国会開設を主張した大隈重信が政府から追放され、政府は10年後の国会開設を約束する詔を出した。
2. 政府の方針に反対する農民が秩父事件を起こしたため、政府は保安条例を制定して運動を厳しく弾圧した。
3. 伊藤博文がドイツ（プロイセン）へ渡り、君権の強い憲法を研究して帰国したことで、国会開設が前倒しされた。
4. 内閣制度が創設されたことにより、板垣退助が初代内閣総理大臣に任命され、自由民権運動は終息した。

問3 日清戦争後の日本において、軍事力の強化や産業の近代化を目的として行われた政策について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 下関条約で得た賠償金の一部を投じ、鉄鋼の自給自足を目指して八幡製鉄所を建設した。
2. 欧米諸国との対等な外交を進めるため、鹿鳴館を建設して外国使節を接待する政策を強化した。
3. 蝦夷地を北海道と改称し、開拓使を置いて大規模な屯田兵による開発と防衛を同時に進めた。
4. 国家の仕組みを整えるため、伊藤博文を初代内閣総理大臣とする内閣制度を創設した。

問4 明治時代の自由民権運動において、民間人が独自に作成した憲法草案（私擬憲法）には、国民の権利や自由を保障する先進的な内容が多く盛り込まれました。これらの草案に強い影響を与え、「法の下での平等」などの近代的な人権思想の源流となった歴史的出来事として最も適切なものはどれですか。（2026年 島根公立入試 類似）

1. フランス革命にともなう人権宣言
2. プロイセン（ドイツ）憲法の制定
3. 明治政府による五箇条の御誓文の公布
4. イギリスのマグナ・カルタの作成

問5 1890年代後半、日本の産業構造が変化する中で、ある品目の輸出額が輸入額を上回る「逆転現象」が起きました。この現象が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. 機械制生産の導入によって軽工業が発達し、国内での生産量が増加したため
2. 日清戦争の賠償金をもとに八幡製鉄所が建設され、重工業の製品が普及したため
3. 条約改正によって関税自主権を完全に回復し、外国製品の流入を制限したため
4. 世界恐慌への対策として、政府が輸出を奨励するブロック経済政策をとったため

問6 明治時代の産業革命を支えた紡績業において、労働力の中核を担った人々と、その過酷な労働実態を著書『日本の下層社会』の中で克明に報告した人物の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 富山公立入試 類似）

1. 10代から20代の若い女性たちと、横山源之助
2. 都市部で働く成人男性たちと、横山源之助
3. 農村から出稼ぎに来た男性たちと、渋沢栄一
4. 10代から20代の若い女性たちと、福沢諭吉

問7 自由民権運動の激化を受けて、明治政府は1881年に「国会開設の勅諭」を出し、10年後の国会開設を約束しました。これに合わせ、国会での政治活動を見越して板垣退助を党首として結成された組織はどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 自由党
2. 立憲改進黨
3. 立憲政友会
4. 日本社会党

問8 明治時代に展開された自由民権運動において、運動側が求めた主な内容と、その背景にある考え方の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2019年 山口公立入試 類似）

1. 国会の開設と憲法の制定を求め、藩閥による独裁的な政治を批判した。
2. 納税額に関わらず全ての男子に参政権を認める普通選挙の実施を求めた。
3. 公害問題の解決を最優先課題とし、天皇に直接訴え出る行動をとった。
4. 内閣制度の廃止と、江戸時代のような將軍による政治への復帰を主張した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 明治政府は日本語の使用や日本風の姓名への変更を求める同化政策を推し進め、2019年にはアイヌ施策推進法によって法律上初めて先住民族と明記された。	明治政府は、1899年に制定した「北海道旧土人保護法」などを通じ、アイヌの人々の固有の文化や生活習慣を制限し、日本社会へ同化させる「同化政策」を強行しました。これにより、アイヌ独自の言語や伝統儀式が失われる危機に直面しました。長年の運動を経て、1997年にはアイヌ文化の継承を支援する「アイヌ文化振興法」が制定され、さらに2019年には「アイヌ施策推進法」が施行されたことで、法律の中で初めてアイヌが「先住民族」であることが明記されました。
問2	答え 1 早期の国会開設を主張した大隈重信が政府から追放され、政府は10年後の国会開設を約束する詔を出した。	政府内部では国会の開設時期について意見が分かれており、イギリス流の議院内閣制をモデルに早期の開設を求めた大隈重信と、ドイツ流の君主権が強い仕組みを理想として慎重な姿勢をとった伊藤博文らが対立していました。開拓使官有物払下げ事件への批判が高まる中、政府は大隈を追放し（明治十四年の政変）、同時に「国会開設の詔」を出して10年後の1890年に国会を開くことを公約することで、事態の沈静化を図りました。
問3	答え 1 下関条約で得た賠償金の一部を投じ、鉄鋼の自給自足を目指して八幡製鉄所を建設した。	1895年の下関条約締結後、日本は獲得した賠償金を軍備拡張や重工業化のために活用しました。その代表例が官営の八幡製鉄所であり、日露戦争に備えた軍艦や鉄道の材料となる鉄鋼を国内で生産する体制を整えました。なお、内閣制度の創設や北海道への改称、鹿鳴館の建設はいずれも日清戦争（1894年開始）よりも前の出来事です。
問4	答え 1 フランス革命にともなう人権宣言	自由民権運動の中で作成された私擬憲法、特に植木枝盛が起草したとされる案などには、フランス革命で示された「人権宣言」の影響を強く受けた民主主義的な思想が反映されています。これらは、国民の権利や自由を国家の法で保護し、身分に関わらず法律において平等に扱うべきであるという、当時の日本において極めて進歩的な人権意識に基づいています。
問5	答え 1 機械制生産の導入によって軽工業が発達し、国内での生産量が増加したため	1890年代の日本は、日清戦争（1894～95年）を挟んで産業革命が急速に進化した時期にあたります。特に紡績業などの軽工業において、蒸気機関を用いた機械制生産が普及したことで大量生産が可能になりました。その結果、1890年には生産高が輸入高を、1897年には輸出額が輸入額をそれぞれ上回る「綿糸貿易の逆転」が実現しました。他の選択肢にある重工業の発展は20世紀初頭以降であり、関税自主権の完全回復は1911年、ブロック経済は1930年代の出来事です。
問6	答え 1 10代から20代の若い女性たちと、横山源之助	明治時代の紡績業は日本の輸出を支える主要産業でしたが、その現場では「工女」と呼ばれた若い女性たちが主役となっていました。ジャーナリストの横山源之助は、当時の貧困層や労働者の実態を調査し、その記録を『日本の下層社会』にまとめました。この著書は、華やかな産業発展の裏側にある深刻な労働問題や格差を世に知らしめる重要な資料となりました。
問7	答え 1 自由党	政府が10年後の国会開設を公約したことにより、運動側は議会での論戦に備える必要が生じました。これを受けて板垣退助はフランスの思想などの影響を受けた自由党を結成しました。なお、大隈重信を党首として結成されたのは立憲改進黨です。
問8	答え 1 国会の開設と憲法の制定を求め、藩閥による独裁的な政治を批判した。	自由民権運動は、特定の藩の出身者が実権を握る「藩閥政治」を批判し、国民の意見を反映させるための議会（国会）の設置や、国の最高法規である憲法の制定を目指したものです。納税額に関わらず選挙権を求める動きは、後の時代の「普選運動（普通選挙運動）」にあたります。